

「分子、クラスター、ナノ結晶の原子構造と電子物性の研究会」

2000年11月21日(火)～22日(水)

「フラーレン科学における新機能探索の現状と展望」

2000年11月23日(木)～25日(土)

「紫外・真空紫外光領域の新しいニーズと放射光利用」

2000年12月11日(月)～12日(火)

「動的側面からみたタンパク質の分子科学：揺らぎの理解に向けて」

2000年12月25日(月)～27日(水)

「有機分子機能体の設計・合成・物性」

2001年1月18日(木)～20日(土)

「真空紫外線・軟X線パルスの利用と将来展望」

2001年1月26日(金)～27日(土)

分子、クラスター、ナノ結晶の原子構造と電子物性の研究会

2000年11月21日(火)～22日(水)

岡崎コンファレンスセンター

11月21日(火)第1日目

13:00-14:20 共通セッションI

座長 田中信夫

1. シリコン表面7×7構造：原子を見る
高柳邦夫(東京工大総理工)40分

2. 近接場光学：計測から加工へ
大津元一(東京工大総理工)40分

14:20-14:30 休憩(10分)

14:30-17:35 セッションIIA

座長 竹田精治

1. ナノチューブ研究の展開
飯島澄男(名城大理工)35分
2. 量子渦糸をみる
外村彰(日立製作所基礎研究所)35分

15:40-15:50 休憩(10分)

3. 電気伝導を観る
長谷川修司(東京大理)35分
4. STMによる固液界面反応の解明
板谷謹悟(東北大工)35分
5. 非接触AFMによる分子種の認識
菅原康弘(大阪大工)35分



17:35-17:45 休憩（10分）

特別講演 Structural Biologyと顕微鏡の解像力
濱 清（生理研）

18:00-18:10 全体総括
田中信夫、藤吉好則

11月22日（水）第2日目

9:00-11:25 セッションIIIA

座長 平山司

1. サブオングストローム分解能電子顕微鏡のためのモノクロメータと収差補正
津野勝重（日本電子）
2. 実時間焦点位置変調電子顕微鏡の開発と応用
高井義造（大阪大工）

10:10-10:15 休憩（5分）

3. ナノ領域の元素分布をみる—STEM-EELS法—
倉田博基（日本原子力研究所）
4. 電子と電子は干渉するか？—電子カウンティングの拓く世界—
長我部信行（日立製作所基礎研究所）

13:25-15:50 セッションIVA

座長 高柳邦夫

1. 水素終端シリコン表面での原子の観察と操作
橋詰富博（日立製作所基礎研究所）35分
 2. 表面をみる
八木克道（東京工大名誉教授）35分
- 14:35-14:40 休憩（5分）
3. 欠陥や界面を第一原理計算で探る—計算科学と電子顕微鏡との共同—
香山正憲（大阪工業技術研究所）35分
 4. 金属内包フラレーンの構造
篠原久典（名古屋大理）35分

15:50-16:00 休憩（10分）

16:00-18:00 共通セッションV

座長 高井義造

1. 電子線とX線による超分子の構造解析—細菌べん毛らせんのスイッチ機構—
難波啓一（ERATO, JST&松下電器先端技研）40分
2. 位相差電子顕微鏡と複素観測
永山国昭（生理研超微小形態生理）40分

フラレーン科学における 新機能探索の現状と展望

2000年11月23日（木）～25日（土）

岡崎コンファレンスセンター

1日目（11月23日（木））

セッション1：「フラレーン分子の化学修飾を用いた物性開発」

（座長：都立大院理・兒玉健）

13:30-15:00 東北大反応研・伊藤攻
フラレーン類の新しい光物性と光反応の開発

休憩

（座長：新潟大院自然・若原孝次）

15:30-16:30 新潟大院自然・前田優
フラレーン触媒としての新展開

16:30-17:30 九大院工・池田篤志
カプセル型分子によるC₆₀の包接とその応用研究

終了

18:00- 幹事会

2日目（11月24日（金））

（座長：京大化研・村田靖次郎）

9:00-10:30 東大院工・田代健太郎
フラレーン・ポルフィリン超分子錯体の構築と機能

休憩

セッション2：「フラレーン、ナノチューブ固体相の物質設計」

（座長：都立大院理・三宅洋子）

11:00-12:00 都立大院理・石井知彦
磁性金属錯体-C₆₀-電荷移動錯体の合
成・磁気物性および電子状態

昼食

(座長：東大工・河野正道)

13:30-15:00 筑波大物質・岡田晋
フラーレン・ナノチューブポリマー相
の構造と電子状態

15:00-16:00 東大院理・田村了
ナノチューブにおける電子輸送

休憩

(座長：青学大理・中田恭子)

16:30-18:00 無機材研・坂東義雄
B-C-N系の多元素ナノチューブ・フラー
レンの合成と構造解析

終了

18:00- 懇親会

3日目(11月25日(土))

セッション3：「スーパーアトムの物性解明」

(座長：名大院理・稲熊正康)

9:00-10:30 岡山大院自然・久保園芳博
金属内包C₆₀の構造と物性研究の現状

10:30-11:30 都立大院理・秋山和彦
放射能をプローブとした金属フラーレ
ン研究

休憩

(座長：都立大院理・小林郁)

11:50-12:50 総合討論

終了

12/11

座長 伊藤稔(信州大工)

13:20 - 13:30 始めに
福井一俊(分子研界面)

13:30 - 14:10 真空紫外励起用蛍光体～酸化物蛍光体
の課題と量子カッティングを用いたフ
ッ化物蛍光体の探索～
田中省作(鳥取大工)

14:10 - 14:40 分子軌道計算の光機能材料開発への応
用～手法と実際～
里園浩(浜松ホトニクス中研)

14:40 - 15:00 休憩

座長 難波孝夫(神戸大理)

15:00 - 15:20 水素結合型強誘電体の構造相転移と光
学応答
大野宣人(大阪電通大工)

15:20 - 15:40 電子励起が誘起する order-disorder 相転
移
宣沼洋輔・野場賢一(大阪府立大工)

15:40 - 16:00 休憩

座長 黒澤宏(分子研界面)

16:00 - 16:40 次世代半導体リソグラフィ技術の展望
笹子勝(技術研究組合超先端電子技術
開発機構(ASET))

16:40 - 17:10 高解像光リソグラフィ技術
寺澤恒男(日立中研ULSI)

17:10 - 17:40 真空紫外光用透過材料としてのSiO₂
栗津浩一(電総研量子放射部)

17:40 - 18:00 紫外・真空紫外光分光によるシリカ系
ワイドバンドギャップ物質の研究
西川宏之・大木義路(芝浦工大工・早
大理工)

18:00 - 18:30 UVSOR 見学ツアー

18:30 - 20:30 懇親会

12/12

座長 福井一俊(分子研界面)

09:00 - 09:40 新しい高輝度真空紫外光源
黒澤宏(分子研界面)

紫外・真空紫外光領域の新 しいニーズと放射光利用

2000年12月11日(月)～12日(火)
岡崎コンファレンスセンター中会議室



- 09:40 - 10:00 極紫外広帯域 (200 nm - 30 nm) 多層膜の開発
江島丈雄 (東北大科研)
- 10:00 - 10:20 休憩
- 座長 平松和政 (三重大工)
- 10:20 - 10:50 III 族窒化物半導体のエピタキシー
~量子ドット・低転位~
田中悟 (北大電子科学研)
- 10:50 - 11:10 窒化物半導体からの紫外高輝度発光
~200-300 nm 帯発光デバイス実現の可能性~
平山秀樹 (理研半導体)
- 11:10 - 11:50 窒化物半導体受光素子による火災検知センサ
平野光 (大阪ガス)
- 11:50 - 12:10 放射光を用いた窒化物半導体の研究
福井一俊 (分子研界面)
- 12:10 - 13:10 昼食
- 座長 鎌田雅夫 (分子研 UVSOR)
- 13:10 - 13:30 VUV 光を用いたアミノ酸薄膜の光物性と化学進化の研究
田中真人 (神戸大自然)
- 13:30 - 14:00 イオン性半導体における励起子吸収の圧力効果
難波孝夫 (神戸大理)
- 14:00 - 14:20 BaFBr:Eu²⁺ の輝尽発光中心
大西彰正 (山形大理)
- 14:20 - 14:40 休憩
- 座長 中川英之 (福井大工)
- 14:40 - 15:00 ハロゲン化鉛、タンゲステン酸鉛等の紫外・真空紫外光領域における光学スペクトル
藤田正実 (海上保安大自然)
- 15:00 - 15:30 真空紫外光を用いた固体におけるエネルギー緩和過程の研究
北浦守 (福井高専応物)
- 15:30 - 16:10 21 世紀の VUV 光物性研究への一考察
鎌田雅夫 (分子研 UVSOR)

動的側面からみたタンパク質の分子科学： 揺らぎの理解に向けて

2000 年 12 月 25 日 (月) 午後 ~ 27 日 (水) 午前

岡崎コンファレンスセンター小会議室

12 月 25 日 (月)

12:45-1:20 受付

1:20-1:30 はじめのことば
北尾彰朗 (京大院・理)

座長 水谷泰久 (分子研)

1:30-2:10 柴田穰 (レーザー総研)
サイト選択分光法で見る蛋白質構造揺らぎの調和性、非調和性

2:10-2:50 寺嶋正秀 (京大院・理)
光トリガーによる蛋白質のダイナミクス

2:50-3:15 休憩

座長 寺嶋正秀 (京大院・理)

3:15-3:55 北尾彰朗 (京大院・理)
理論と実験データの解釈から得られた蛋白質ダイナミクスの描像

3:55-4:35 桑田一夫 (岐阜大・医)
蛋白質の励起構造と機能・病原性

4:35-5:00 休憩

座長 北尾彰朗 (京大院・理)

5:00-5:40 杉田有治 (分子研)
拡張アンサンブル法による蛋白質構造揺らぎの解析

5:50-7:20 ポスターセッション

12 月 26 日 (火)

座長 赤坂一之 (神戸大院・自然科学)

9:00-9:40 石井由晴 科技団・一分子プロジェクト)
1 分子計測で見たタンパク質構造のダイナミクス

9:40-10:20 高野光則（東大院・総合文化）
1分子計算機実験再考

10:20-10:40 休憩

座長 奥村剛（お茶水大・理）

10:40-11:20 齋藤真司（名大院・理）
液体の揺らぎと非線形分光

11:20-12:00 長澤裕（阪大院・基礎工）
液体、ガラス、蛋白質中の超高速緩和過程

座長 小松崎民樹（神戸大・理）

1:20-2:00 奥村剛（お茶水大・理）
2次元レーザー分光法による生体分子の構造解析の可能性と2次元フォトンエコーによる2次元ラインシェイプ解析

2:00-2:40 富永圭介（神戸大・理）
超高速分光の実験家から見た凝縮相における揺らぎと緩和

2:40-3:05 休憩

座長 富永圭介（神戸大・理）

3:05-3:45 肥後順一（生物分子工学研究所）
Fluctuations of solvent dipole field and pinning around biomolecules

3:45-4:25 八木原晋（東海大・理）
マイクロ波誘電分光によるタンパク質の動的構造の研究

4:25-4:50 休憩

座長 木寺詔紀（京大院・理）

4:50-5:30 山本晃司（神戸大・理）
実験的アプローチによるタンパク質低振動領域の考察

5:30-6:10 赤坂一之（神戸大院・自然科学）
高圧NMRによる蛋白質構造の遅い揺らぎ—蛋白質ダイナミックスの新しい描像

6:30- 懇親会

12月27日（水）

座長 齋藤真司（名大院・理）

9:00-9:40 木寺詔紀（京大院・理）
モードカップリング・振動エネルギー移動から見た蛋白質のダイナミックス

9:40-10:20 平田文男（分子研）
蛋白質の部分モル容積と構造揺らぎ

10:20-10:40 休憩

座長 高橋聡（京大院・工）

10:40-11:20 中迫雅由（東大・分子細胞生物学研）
極低温蛋白質X線結晶構造解析で得られた蛋白質—水系動的構造研究の手がかり

11:20-12:00 片岡幹雄（奈良先端大・物質創成科学）
中性子非弾性散乱による蛋白質ダイナミックスの研究

12:00-12:10 おわりのことば
水谷泰久（分子研）

○ポスターセッション○（12月25日（月）5:50-7:20）

P-01 高橋聡（京大・院・工）
「HRPのCompound0中間体の寿命は10マイクロ秒以内である」

P-02 秋山修志（京大・院・工）
「高速混合・X線小角散乱技術を利用したシトクロムc折れ畳み初期過程の観察」

P-03 古川良明（京大・院・工）
「蛋白質間電子移動に対する水和水の効果」

P-04 木村哲就（京大・院・工）
「ペプチドのヘリックス-コイル転移過程の時分割IR測定」

P-05 林義人（東海大・理）
「誘電緩和測定によるタンパク質ドメインの揺らぎの観測」

P-06 横田浩章（科技団・一分子プロジェクト）
「1分子蛍光エネルギー移動法によるタンパク質構造のゆらぎの検出」

P-07 佐々木裕次（科技団・素過程と連携）
「X線1分子計測法でタンパク質分子の揺らぎを見る」

P-08 永原哲彦（阪大・院・基礎工）
「光カーゲート法を用いた溶媒とダイナミックスの研究」

P-09 前川宏明（神戸大・院・自然科学）
「2次元振動分光の実験的・理論的開発」

P-10 奥野浩明（神戸大・院・自然科学）
「制限された空間内における液体分子の振る舞い」



- P-11 鳥居肇 (東大・院・理) (於大会議室)
「液体中の非局在振動励起に関わる非線形光学過程の解析と、タンパク質の構造・ダイナミクス解析への展望」
- P-12 林友将 (東大・院・理)
「振動位相緩和、赤外吸収バンド形にたいする理論的アプローチ」
- P-13 森次圭 (京大・院・理)
「タンパク質分子内の振動エネルギー移動」
- P-14 坂倉政明 (京大・院・理)
「光解離によるカルボキシミオグロビンの構造ダイナミクス：遠位ヒスチジンの変異の影響」
- P-15 水谷泰久 (分子研)
「ミオグロビンの機能に関係した揺らぎをとらえる試み」
- P-16 中島聡 (阪大・院・基礎工)
「超高速分光法によるブルー銅蛋白質の電子移動反応と蛋白質の動的挙動の研究」
- P-17 Ying Hu (分子研)
「Investigation of cytochrome c unfolding using ns T-jump time-resolved Raman spectroscopy」
- P-18 神山匡 (広島大学・VBL)
「蛋白質の構造・圧縮率・機能相関」
- P-19 川上勝 (神戸大・院・自然科学)
「温度ジャンプNMRで見たαラクトアルブミンのアンフォールディング」
- P-20 北原亮 (神戸大・院・自然科学)
「高圧NMRによるユービキチンの構造探索：機能的構造と変性中間体構造の発見」
- P-21 米原久美子 (神戸大・院・自然科学)
「タンパク質SNaseのfolding初期過程における疎水核形成」
- P-22 武田佳奈 (神戸大・院・自然科学)
「タンパク質POIA1の圧力変性過程」
- P-23 光武亜代理 (分子研)
「拡張アンサンブル法による小ペプチド系のシミュレーション」

有機分子機能体の設計・合成・物性

2001年1月18日(木)～20日(土)
岡崎コンファレンスセンター

- 1/18 (木)
- 13:00- はじめに
[座長：坪広樹(姫路工大)]
- 13:15- 13:40 田中寿(分子研)
単一分子から成る分子性金属結晶の合成と物性
- 13:40- 14:05 唐澤悟(九大院薬)
マトリックス中での光応答型磁性体の構築
[座長：中山敦子(物質研)]
- 14:05- 14:30 中澤康浩(阪大院理 分子熱セ)
有機微小単結晶での熱容量測定—低温熱測定でみた電子物性—
- 14:30- 14:55 井上克也(分子研)
不斉構造を有する分子磁性体の構築
- 14:55- 15:25 < coffee break >
[座長：米満賢治(分子研)]
- 15:25- 15:50 瀧宮和男(広島大工)
セレン原子を含む分子性導体の最近の展開—新規合成法と新物質—
- 15:50- 16:50 腰原伸也(東工大・物質科学, KAST)
[招待講演]
金属錯体における協力現象の光制御—相転移ダイナミクスの光・磁場制御—
- 17:00- 18:10 ポスター発表(I)(中会議室)
- 18:40- < 懇親会 >
(於分子研構内サングリア食堂)

- 1/19 (金)
- [座長：齊藤一弥(阪大理)]
- 9:00- 9:25 内藤俊雄(北大院理)
ET/MnCl₄/TCE系の磁性と伝導性
- 9:25- 9:50 塩見大輔(阪市大院理)
有機フェリ磁性のスピン化学
- 9:50- 10:15 太田仁(神戸大理)
有機分子性物質の磁性とESR
- 10:20- 11:30 ポスター発表(II)(中会議室)
- 11:30- 13:30 < 昼食 >

[座長：矢持秀起（京大理）]

13:30- 13:55 近藤隆祐（東大院総合）
ドナー・アクセプター型有機超伝導体
(BETS)₂(X₂TCNQ)(X=Cl, Br)の構造と物
性

13:55- 14:20 武田定（北大院理）
固体高分解能 NMR でみる磁氣的局所構
造と磁氣的相互作用

14:20- 14:45 芥川智行（北大電子研）
有機伝導体中のプロトン・イオン運動
と電子伝導

[座長：伊東裕（名大理）]

14:45- 15:10 石田尚行（電通大）
ピリミジンを利用した分子性磁性体

15:10- 15:35 野上由夫（岡山大院自然）
有機分子機能体の低温構造と物性

15:35- 16:00 < coffee break >

16:00- 16:25 森田靖（阪大院理）
奇交互炭化水素フェナレニルを基盤と
した新しい共役 π 電子系物質の開発

[座長：西川浩之（都立大理）]

16:25- 16:50 森初果（超工研）
有機電導体におけるバンド幅およびバ
ンドフィリングコントロールによる電
子状態制御

16:50- 17:15 金道浩一（阪大極限セ）
極低温及び高圧下の強磁場磁化測定

17:15- 17:40 高橋一志（京大院工）
新規 TTP 系分子集合体構築へのアプ
ローチ

1/20（土）

[座長：藤原秀紀（分子研）]

9:00- 9:25 山本浩史（理研）
超分子を用いた分子性導体の開発

9:25- 9:50 長尾修身（阪市大理）
ニトロキシド導入型含窒素二座型配位
子—磁性金属錯体の合成と物性

9:50- 10:15 宇治進也（金材研）
λ-(BETS)₂FeCl₄の強磁場電子状態

10:15- 10:40 < coffee break >

[座長：手木芳男（阪市大院理）]

10:40- 11:05 戸村正章（分子研）
弱い分子間相互作用を利用した分子集
合体設計

11:05- 11:30 大平聖子（理研）
ミュオンをプローブとして用いた有機
磁性体の研究

[座長：坂井徹（姫工大理）]

11:30- 11:55 榎本健悟（東工大院理工）
有機ラジカルイオン塩(DMET)₂FeBr₄の
構造と物性

11:55- 12:20 細越裕子（分子研）
分子性化合物による新しい磁性体

12:20- 終わりに

ポスター発表（於中会議室）

偶数講演番号：ポスター（Ⅰ）18日（木）17:00- 18:10

奇数講演番号：ポスター（Ⅱ）19日（金）10:20- 11:30

P1 坏広樹（姫工大理）
有機ラジカル部位を持つアニオン、TEMPO-
NHSO₃⁻およびTEMPO-OSO₃⁻を用いた有機電
荷移動錯体の合成、構造と物性

P2 伊藤彰浩（京大院工）
パラフェニレンジアミン部位をスピン源とする
高スピンカチオンラジカルの合成

P3 伊東裕（名大工）
ハロゲン架橋金属錯体 Ni_{1-x}Pd_x(chxn)₂Br₃の電
気伝導

P4 伊藤哲明（東大工）
Cu ドーピングと圧力印加による(DI-DCNQI)₂
Agにおける電荷秩序の融解

P5 井野晴洋（京大院工）
ピンドシェドラーズ・グリーンをスピン源とす
る高スピンカチオンラジカルの合成

P6 キャンセル

P7 上田末紀（京大院人環）
メゾスコピック分子磁性体 Fe₈の磁性とNMR

P8 上野晋平（広島大工）
固体状態におけるオリゴチオフェンの酸化還元
挙動

P9 売市幹大（分子研）
一次元電子系 BDTFP 塩の反射スペクトルおよ
び結晶構造



- P10 大久保晋 (神戸大理)
Pd(dmit)₂ 塩の ESR 測定
- P11 大島勇吾 (神戸大理)
単純なフェルミ面を持った BEDT-TTF 系のサイクロトロン共鳴
- P12 岡崎暢寿 (姫工大理工)
フラストレートしたスピンラダ - の磁化過程
- P13 岡本清美 (東工大理工)
BIP-TENO の非自明磁化プラト - の機構の理論
- P14 Olga Drozdova (分子研)
Far-infrared properties of κ -(ET)₂Cu(CN)[N(CN)₂]
- P15 加藤恵一 (総研大・分子研)
分子内に S = 1 ユニットを含むニトロキシド系ポリラジカル合成と磁性
- P16 川上貴資 (阪大院理)
有機結晶中での強磁性相互作用の解析・設計に関する hybrid-DFT 法の適用
- P17 岸木敬太 (電総研)
二次元系の dHvA 振動の多重バンド効果
- P18 木村尚次郎 (阪大極限セ)
スピンギャップ系の高周波強磁場 ESR
- P19 小柴健 (京大院人環)
ナノスケール分子磁性体 Mn₁₂-acetate の ⁵⁵Mn NMR
- P20 桐田敬三 (神戸大理)
スピンラダー系 BIP-TENO の ESR からみた低次元性
- P21 坂井徹 (姫工大理工)
フェリ磁性鎖の量子磁化プラト -
- P22 迫克也 (名工大)
ジアセチレンユニットを有する TTF 誘導体の合成と物性
- P23 佐竹由里恵 (京大工)
ジ(2-ピリジル)メタン部位を有する TTF 系ドナーの合成と物性
- P24 佐藤あかね (阪大院理分子熱セ)
有機伝導体に関する ac カロリメトリー
- P25 陣野俊介 (愛媛大理)
純有機伝導性磁性体の合成と物性—アルキルピリジニウム置換フェルダジラジカルと TCNQ の (1:1) および (1:2) 塩
- P26 武内修 (筑波大理工, JST)
フェムト秒ポンププローブ測定による一次元有機伝導体 β -(BEDT-TTF)₂PF₆ の CDW 相転移の解析
- P27 武田圭生 (阪大院基礎工)
高圧下における一次元白金錯体 [Pt(bqd)₂] の電気伝導と X 線回折
- P28 田中久暁 (名大工)
擬一次元ハロゲン架橋金属錯体 Ni_{1-x}Pd_x(chxn)₂Br₃ の ESR
- P29 谷嘉浩 (京大院工)
 π 電子供与体を配位子とする金属錯体の合成と物性
- P30 谷岡弘章 (京大院工)
シクロヘキセンを挿入した TTP 誘導体の合成と性質
- P31 田村格良 (分子研)
 α -ET₂I₃ の高圧単結晶構造解析
- P32 丁玉琴 (総研大・分子研)
Polarized Raman and reflection spectra of phthalocyanine conductors Co_xNi_{1-x}Pc(AsF₆)_{0.5}
- P33 手木芳男 (阪市大院理)
光励起状態を介した π 共役スピン系のスピン整列
- P34 中西高士 (岡山大理工)
低次元分子磁石への誘い
- P35 中野元裕 (阪大院工)
単一分子磁石の分子設計 - 磁気異方性 D の符号転換
- P36 中屋敷崇 (京大院工)
セレン原子を導入した含カルコゲノピラン TTP 系伝導体の構造と物性
- P37 中山敦子 (物質研)
超高圧下における単一有機分子結晶の金属化
- P38 鳴海康雄 (CREST, 阪大極限セ)
強磁場磁化測定を用いた量子スピン系の研究
- P39 西川浩之 (都立大院理)
MeDH-TTP 塩の合成と物性
- P40 西田辰介 (阪大院理)
6-オキソフェナレノキシル類の CV 法による酸化還元挙動の考察
- P41 畑中貴志 (愛媛大理)
分子内に正電荷を有する 6-オキソフェルダジラジカル [M(dmit)₂] (M = Ni, Zn, Pd, Pt) 塩の磁性と伝導性
- P42 原憲司 (都立大院理)
TTF オリゴマーならびに π 拡張型 TTF オリゴマーの合成、構造と物性
- P43 平井克幸 (三重大分析セ)
安定な高スピンポリカルペンの発生と特性化

- P44 藤井裕（福井大工）
かごめ格子および歪んだかごめ格子をもつ有機
ラジカル反強磁性体の核磁気緩和
- P45 藤田敏之（東北大金研）
 α -(BEDT-TTF)₂KHg(SCN)₄の強磁場中における
電流 - 電圧特性
- P46 前里光彦（京大院理）
一軸性ひずみによる有機導体の物性制御
- P47 槇優（阪大院理）
水酸基を二つ有するフェナレノン誘導体から発
生させた安定ラジカルの合成と性質
- P48 松浦広明（京大院人環）
イミダゾール環の4位を置換したニトロニルニ
トロキシドの合成と磁気物性
- P49 松本充功（東大工）
 κ -(d[2,2]-ET)₂Cu[N(CN)₂]Brのモット転移近傍に
おける超伝導 - 絶縁体転移の¹H-NMR
- P50 御崎洋二（京大院工）
(CHTM-TTP)₂TCNQの構造と物性
- P51 水谷敏幸（電総研/東理大理工）
有機超伝導体の一軸性圧力効果
- P52 宮坂誠（早大理工）
頭-尾規制ポリ(3-ラジカル置換チオフェン)の合
成とスピン整列
- P53 森本貴信（都立大理）
DODHT塩の合成と物性
- P54 山本薫（分子研）
振動スペクトルによる θ および α 型BEDT-TTF
塩の電荷整列の観測
- P55 山本晃士（東大工）
MMX錯体のNMR
- P56 矢持秀起（京大院理）
(EDO-TTF)₂PF₆に見られた大きな分子変形を伴
う金属 - 絶縁体転移について
- P57 吉野優子（都立大院理）
シアノ鉄一次元鎖とBEDT-TTFカラムとが直交
構造を有した電荷移動錯体の構造と磁性及び伝
導物性
- P58 吉岡英生（奈良女子大理）
Effects of Next-Nearest-Neighbor Repulsion on
One-Dimensional Quarter-Filled Electron Systems
- P59 キャンセル
- P60 米山直樹（東北大金研）
有機超伝導体 κ -ET₂Cu[N(CN)₂]Brにおける磁化
の冷却速度依存性

- P61 渡辺俊介（京大工）
TTPダイマーの合成と物性

真空紫外線・軟X線パル スの利用と将来展望

2001年1月26日（金）～27日（土）

岡崎コンファレンスセンター中会議室

1/26

座長：伊藤稔（信州大工）

13:20-13:30 はじめに
鎌田雅夫（分子研 UVSOR）

13:30-14:00 SPring-8における放射光パルス性の性能
と運転状況
大熊春夫（JASRI）

14:00-14:30 X線レーザーのパルス性
河内哲哉（原研関西）

14:30-15:00 EUVリソグラフィー用プラズマ光源の
研究
青田達也（電総研）

15:00-15:30 レーザー高調波の発生と利用
関川太郎（東大物性研）

15:30-16:00 休憩

座長：富江敏尚（電総研）

16:00-16:30 電子線とレーザーによる極短ビーム発
生
上坂充（東大原研）

16:30-16:50 蓄積リングにおけるパルス光発生
加藤政博（分子研 UVSOR）

16:50-17:10 高調波真空紫外線を利用した超高分解
能光電子分光とその物性研究への応用
幸埴（東大物性研）



- 17:10-17:40 Diffuse scattering and ultra-fast time-resolved crystallography studies at thermo- and photo-induced neutral-ionic transition
Dr. Eric Collet (LABORATOIRE LEON BRILLOUIN:CEA/Saclay)
- 18:00-20:00 懇親会
- 15:30-15:50 超高速時間分解分光
末元徹 (東大物性研)
- 15:50-16:00 まとめ
鎌田雅夫 (分子研 UVSOR)

1/27

座長：伊藤寛 (香川大工)

- 09:00-09:30 レーザープラズマ光電子分光
錦織健太郎 (電総研)
- 09:30-10:00 レーザー高調波による時間分解顕微光
電子分光
宗像利明 (理研)
- 10:00-10:20 レーザーと放射光を用いた光電子分光
田中仙君 (分子研 UVSOR)
- 10:20-10:50 休憩

座長：河内哲哉 (原研関西)

- 10:50-11:10 放射光パルスを用いた 2 光子蛍光
辻林徹 (大阪歯科大)
- 11:10-11:30 SPring-8 における短パルスレーザー利用
実験
田中義人 (理研)
- 11:30-12:00 フェムト秒レーザー生成プラズマ X 線に
よる時間分解分光
中野秀俊 (NTT 物性基礎研)
- 12:00-13:10 昼食

座長：渡辺雅之 (京大人間)

- 13:10-13:40 レーザープラズマ光電子顕微鏡
富江敏尚 (電総研)
- 13:40-14:10 放射光によるポンププローブ X 線実験
大柳宏之 (電総研)
- 14:10-14:30 放射光による高速分光への期待
中西俊介 (香川大工)
- 14:30-15:00 休憩

座長：有本収 (岡山大理)

- 15:00-15:30 固体と分子における内殻励起状態での
原子緩和
萱沼洋輔 (阪府大工)